http://www.minamih.net/

１１・　７・２９(金)
南ＮＥＷＳ　ＮＯ２８

今日から合宿です。

合宿に参加させてくれたお家の人に感謝し，お休みをみんなのために使って熱心に指導してくださるコーチのみなさん，応援のみなさんにありがとうの気持ちを忘れず，４日間をＧＡＭＡＢＡりましょう。

チームメイトと心と力を合わせ，自分のめあて・チームのめあての達成をめざしてＧＡＭＢＡってください。優しく強い自分・優しく強いチームになって八王子に帰ってきましょう。

自分でできることは自分でして，仲間と仲良く過ごして，楽しい想い出を作りましょう。

合宿を楽しみにしていたのに参加できない仲間のためにもＧＡＭＢＡりましょう。

学習もね！　　ｂｙ南のアンパンマン

第９回 JFA 関東ガールズ８大会東京都大会

（駒沢公園第一球技場）

（7/17　１回戦）

〇南八王子　対　FC ROSSA　２－１（前半１－０）

得点者 片寄優さん (2)

４種のチームらしく当たりの厳しいパワーのあるチームでした。力で押され気味となりますが、片寄優さんがキーパーのハンブルしたボールを逃さずに得点、有利に試合を進めます。ただ大きく蹴られると相変わらずの浮き球の処理の悪さという課題が時々顔を覗かせてピンチとなります。それでも前半は１－０でリードしたまま終えることができました。

後半１分に片寄優さんがドリブルで抜けだし、キーパーと１対１の状態から落ち着いて決めて２－０､ただしその１分後に中央突破されて１点返されてしまいます。

そしてここから想定外のアクシデントが・・・。２得点の片寄優さんが手を押さえながらベンチに寄ってきてそのままピッチ外に。攻撃時、相手と接触した際に手の付き方がまずかったのか、手首を痛めてしまったのです。簡単な怪我ではないということは、片寄さんの顔を見て入れば判ります。ただちに井上さんを代わりにピッチへ送り込みます。

次のアクシデントは給水タイムの時・・・。攻守の要である気仙さんが暑さのためか、体調不良を訴えてきたのです。これまたただちに伊藤瑚さんを代わりにピッチへ送り込みますが、攻守のバランスを崩したチームは相手から怒濤の攻撃を受けてしまいます。そんな状態の中で決してゴールを与えることなくゴールを守ってくれたのはキーパーの安井さん。鋭いミドルシュートを左手一本で守った場面は圧巻でした。

後半の残り 10 分は生きたこごちがしませんでしたが、緊張する初戦をなんとか突破することができました。

（7/17　２回戦）

〇南八王子　対　町田相原　１－１（前半０－１）　PK １－０

得点者 気仙さん

１試合目に負傷した片寄優さんは救急車で病院へ行きましたが、無情にも試合だけは続きます。幸運だったのは、次の試合までに２時間半程度休憩が取れることでした。熱中症気味の気仙さんは日陰でしっかりと休み､回復を待ちます。試合開始 45

分前に何とか食事もできるようになり、出場に目処が立ちます。そして片寄優さんの抜けた攻撃面を多少犠牲にしてでもまず失点をしないフォーメーションでスタートしました。

やはり前線でボールキープできないので、相手に試合のペースを握られてしまいます。何度か危ない場面を作られると慌ててしまうのでしょう。ゴール前に放り込まれたゴロのボールを捕らえきれずに、キックミスとなり自陣のゴールに決まってしまったのです。前半はこのまま０－１で終えます。

後半は点を取りに行きます。漆間花さんをトップに、気仙さん、滝本さんを MF をして攻撃を厚くします。するとどうでしょう。ボールポゼッションできるようになり、何度もチャンスを作れるようになります。ただなかなかシュートは打てませんでした。そんな時に欲しいのがセットプレーでした。そして後半９分に獲得した右サイドからの漆間花さんのコーナーキックをゴール前でしっかり頭に合わせてくれたのは、気仙さん。大歓声の劇的な同点ゴールでした。その後もチャンスは作りますが、ゴールは奪えず引き分けとなり、ＰＫ.戦となりました。ここでも大活躍はキーパーの安井さんでした。相手のＰＫを２本、手と足で止めてくれました。満身創痍（まんしんそうい）ではありますが。目標のベスト４進出まであと一歩となりました。

（7/18　準々決勝）

〇南八王子　対　小平八小　０－１（前半０－１）

攻守の切り替えが速く、１対１で勝負をしてパスも使うという南八と似たようなチームが対戦相手でした。ただ今まで対戦したことがありませんでしたので、慎重に攻守のバランスをまず崩さないようにと指示しました。そして３年生の片寄まさんをワントップに入れて、持ち前の寄せの速さとドリブル突破に期待しました。
ところが意外な場面で失点してしまいます。小沢さんを中心とする守りは固く、簡単にシュートを打たせませんでしたが、不意に狙われたミドルシュートはキーパー前でバウンドするという取りにくいボールでした。そのシュートが決まってしまったのです。

後半は漆間花さんをトップに置いて勝負に出ます。また即席で左サイドバックに入ってもらった井上さんの守備も有効で相手の得意の右サイド攻撃を封じることができ、ボールポゼッションがぐっと上がります。ただ漆間花さん一人では相手の守備網にはまってしまいシュートまでなかなか行けません。コーナーキックから滝本さんの惜しいシュートもありましたが、最後まで相手ゴールを揺らすことができずにゲームオーバー。もう１つ勝てばという関東大会出場でしたが、ここで力尽きてしまいました。

よく頑張ったとは思いますが、まだまだ足りないところがたくさんあります。悔し涙を絶対に忘れずに、次にここに立つ時のために、力に変える努力をして欲しいと思いました。

ｂｙ飛田コーチ

南八王子招待試合４年生　　７月１８日　会場：文化大グランド

〇南八王子　ＶＳ　陶鎔元八
　テーマ：受け手の声
結果：　前半　０－０　　後半　０－０　　０－０　引き分け
　得点者：
〇南八王子　ＶＳ　西原
　テーマ：受け手の声
結果：　前半　１－１　　後半　０－６　　１－７　負け
　得点者：山本君（ＰＫ）
〇南八王子　ＶＳ　青梅ＦＣＪ
　テーマ：受け手の声
結果：　前半　０－１　　後半　１－０　　１－１　引き分け
　得点者：山本君
〇３位パート　南八王子　ＶＳ　八王子愛宕
テーマ：受け手の声
結果：　前半　１－１　　後半　０－４　　１－５　負け
　得点者：五島君

1試合目、立ち上がりから、なんとなく気が入っていない様子で、テーマでもある「受け手の声」等、全くの出せず、それでも試合を重ねる度に、福岡君・工藤君・山本君達が声を出せるようになりました。

守るという事に関して、3年生のころから4年生は凄い集中力が有る学年ですが、この大会では、ＤＦの声の掛け合いがなく、ゴール前の同一視野・マークの確立が出来ていませんでした。

ドリブルに関しても、まだまだ相手にぶつけてしまい、自分たちの思うようなプレーが出来ていませんでしたが、福岡君や工藤君は相手の裏へドリブルを仕掛けたり、果敢に挑むプレーは良かったです。

その中でも、五島君の3位パート・愛宕戦での右サイドを駆け上がるドリブルは、スピードもあって相手を翻弄し、見事得点まで奪い素晴らしいプレーでした。ゴールキーパーに入った望月君の声掛けも、大きな声でみんなに伝わり、パントキックもかなりの飛距離で、ダイレクトプレーとしては、最大の武器になる良いキックでした。

今大会を通して、課題・修正点ばかり目につきましたが、ひとつひとつクリアーをし、良いチーム作りを、みんなでがんばろう

ＰＳ：誰かが「ヤル」のではなく、自分が「ヤル」もっともっと一人一人が戦う意識を持とう

ｂｙ原山コーチ

テクニカルカード

毎年のことですが，合宿で南のテクニカルカードを配ります。南のテーマの一つである“ドリブルで相手を抜く楽しみをどの子にも”の達成をめざすのです。

東京都でベスト４に入るチームはどのチームもドリブルで相手を抜き，局面を打開する力をもつプレーヤーが何人もいます。今年の全日本予選東京都大会で準優勝した白百合にはドリブル力のある子が数人います。準決勝で圧倒しながら白百合に敗れましたが常勝ヴェルデイは全員がドリブル突破・キープ力を持っています。自信と余裕を持ってプレーしています。かつて矢上がＪヴィレッジで指導法を一緒に学んだ菅澤大雅元ヴェルデイユース監督は東京都の５年生大会で「パスするなドリブル、ドリブル！」と指導していました。南でもどの子にもドリブルを楽しむ子になってほしいのです。そういう子を育てたいのです。

ドリブルで突破する，ボールをキープする力のないプレーヤーは試合を決めるパスを出したり，クリエイティブな動きをすることもできません。ボールを奪われないかとプレッシャーを感じるあまり余裕がなく，周りを観ることもできず，判断をせず，ただボールを自分の所から遠ざけるために蹴るということになってしまうのです。

コーチのみなさんには日頃から取り組んでいただいていますが，４日間の合宿でドリブルとターン・スクリーンの力のさらなる向上を図っていただけるようお願いしています。

テクニカルカードは自分で評価できるカードです。南の納会の前に提出してもらい，ドリブルチャンピオン賞を決める時の資料とします。ファイルに入れて練習や試合の時に持ち歩き，できたことを記入することになります。

“もてて読みのある選手の育成”

が１９８２年にサッカーマガジン「私のアイデアトレーニング」に松田さんと一緒に取材を受けた時に矢上が伝えたテーマでした。２９年たった今も変わりはありません。クリエイティブでたくましい選手の育成の基本です。

ｂｙ矢上